今 支館・分館では

『花いっぱい 環境美化活動』
―菱野分館―

多くの区では、地域の皆さんで空き地に花を植え、周辺の方々に楽しんでもらっていると思います。

菱野区では、小・中学生が中心になり環境美化活動として、サンライン沿いの〝ひしの信号機の横〟と〝菱野直売所横の公園〟の2ヶ所で毎年花植えを行っています。今年は、6月4日(日)に小学生26人・中学生7人と、PTAの皆さんをはじめ指導してもらう団体等の皆さんにも参加してもらい、総勢約60人で植え付けを行いました。

普段の日曜日なら、まだ布団の中で寝ている子が多いと思われる朝6時30分に集まり代表の子が頑張って植えることを力強く宣誓した後、2班に分かれて植栽場所に移動し大人達に教わりながら植え付け作業に入りました。

当日の朝は気温約7度と、6月とは思えない寒さでしたので、最初は手袋をしたままの子や、ポケットに手を入れた子が多かったのですが、しばらくすると、準備されていたマルチに穴をあけ、マリーゴールドや百日草など4種類の花の苗を植え始めました。

始めは、手袋をしたまま恐る恐る植えていましたが、やがて手袋も外し素手になって「僕は何本」「私は何本植えた」と、競争するように植え始めました。

一時間で約1000本の花の苗を植え終わると早く花が咲くように皆で水をたっぷりとやり本日の作業を終了しました。

終了後は、「花が咲いたら見に来よう」と楽しみにしながら友達と話していました。この日植えた花は、6月下旬頃から10月頃まで楽しめます。

近くを通りましたら、ぜひご覧ください。特に〝直売所横の公園〟には、駐車場もありゆっくりとご覧頂けると思いますので、小・中学生が中心になって植えた花を楽しんでください。

菱野分館長　中込　一雄

『釣り大会』
―糠地分館―

糠地区恒例の釣り大会が5月21日(日)、区内にある天池で行われました。

同区では、敬老会、三方ヶ峰への区民登山、見晴らし交流館を会場にお盆中に開催する夏祭りなど、区、公民館、育成会などが協力しあい、地域全体の方たちが参加できる交流の場を積極的に設けています。

釣り大会はこうした活動の一環。子どもからお年寄りまで、区民だれもが自由に参加できる世代間交流の場として育成会（大橋忠一会長）が中心となり、十数年前から毎年この時期に開催されています。

同区には、稚魚の放流や冬場のワカサギ釣りなど、池を管理する天池愛好会が組織されており、釣り大会では会員の方たちが手作りの釣り竿や餌などを用意し、子どもたちへの釣りの手ほどきも行います。

「昔のように地域の中で大人が子どもに関わる機会が少なくなってしまっていますが、大人に教えてもらって楽しむという時間がいいですね。」と大橋会長。

この日の獲物は、コイとフナ。釣りを楽しむことが一番の狙いではありますが、〝大物賞〟〝たくさん釣ったで賞〟といった賞も準備して大会としての雰囲気も盛り上げています。

昨年は焚き火をたくほどの寒さだったそうですが、今年は天気にも恵まれ、子どもからお年寄りまで幅広い世代の区民が参加。釣りを楽しんだあとは池のほとりでバーベキューを行い交流を深めました。

編集委員　金子　美江